

○懇話会委員の意見要旨〔人口ビジョン〕

資料4-①

(1) 意見を反映したもの(3件)

番号	該当箇所	意見の要旨	本市の考え方
1	9ページ 図11	P9の図11の表題にある「日本人」の表記は、ここにしか出ていない。	「日本人」の表記は、外国人を含まないという意味ですが、図11以外についても外国人を含まないものがあることから、削除します。
2	39ページ Ⅲ 福山市の人口の将来展望 2 めざすべき将来の方向	方向性1について 「……環境づくりを推進する。」を「…環境づくりを推進するとともに、誰からも住んでみたい、住んでよかったと思われる魅力ある町づくりに取り組む。」としては、どうでしょうか。	P39の「方向性1」については“自然減少の抑制”を視点としていることから、“社会減少の抑制”を視点としている「方向性2」を、「人口流出を抑制するためには、働く場を確保することが重要であり、大都市圏に負けない雇用の受け皿づくりによる「若者の地元就職」を促進するとともに、大都市圏からの「UIターン」の取組を推進するなど、 <u>だれもが住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりに取り組む。</u> 」に修正します。
3	38・39ページ Ⅲ 福山市の人口の将来展望 1 人口分析からみる現状と課題 2 めざすべき将来の方向	P38の「現状と課題」の内容と、P39の「めざすべき将来の方向」の内容のつながりが少し弱いように感じました。特に、「方向性3」の広域連携の必要性が浮かびあがるような内容が、もう少しP38の「現状と課題」にあればよいと思いました。	P39の「方向性3」は、連携中枢都市である福山市が構成市町と連携して魅力ある圏域を形成することで人口のダム機能を果たす必要があるという趣旨であります。 このため、P38の(1)人口動態に、現状と課題として、「○備後圏域内の市町からは概ね転入超過となっている一方で、広島市、岡山市、倉敷市などの近隣の主要都市や大阪、東京などの大都市圏に対しては大きく転出超過となっている。備後圏域において福山市は一定のダム効果は発揮しているものの、備後圏域外への人口流出が起こっている。」を加えます。

(2)市の考え方を説明するもの(5件)

番号	該当箇所	意見の要旨	本市の考え方
1	6~10ページ Ⅱ 人口の現状分析 3 福山市の人口 (2)人口動態 ①自然動態 ア 合計特殊出生率 イ 婚姻関係 ウ 女性数の変化	素案でも記載があるとおり、合計特殊出生率が高いことは福山市の大きな強みであり、この強みをさらに伸ばしていくことが重要と考えます。そのためには、なぜそうなっているのかという要因をしっかりと把握することが不可欠です。素案では「有配偶率が高い」、「生涯未婚率が低い」、「一人の女性がより多くの子どもを産んでいる」ことなどを要因と分析する記載がありますが、なぜそのような状況になっているかをもっと深掘りして調査することが必要と考えます。そして、これらの状況を作り出している要素を把握・認識し、維持・強化することが人口減少に歯止めをかける具体的な施策につながると考えます。	「有配偶率が高い」、「生涯未婚率が低い」といった本市の強みをつくり出している要素については、市民性や様々な条件によるものと考えられます。引き続き、こうした強みを認識する中で、人口減少に歯止めをかける効果的な施策の立案・実施に努めて参ります。
2	38・39ページ Ⅲ 福山市の人口の将来展望 1 人口分析からみる現状と課題 2 めざすべき将来の方向	「女性数の減少を抑えること」を喫緊の課題としながら、めざすべき将来の方向に明確に反映されていないのは物足りない。	めざすべき将来の方向においては、「方向性1」、「方向性2」に、女性を含む若い世代の希望をかなえる環境づくりや若者の地元就職の促進を掲げています。女性に特化した取組の具体については、総合戦略において、具体的な施策に位置付けています。
3	40・41ページ Ⅲ 福山市の人口の将来展望 3 人口の将来展望 (1)本市人口の将来展望	このテーマにおける最優先KGI(戦略目標)を明確に設定してはどうでしょうか。市民希望出生率等を尊重して「2060年40万人」または「2025年〇〇人」としてはどうでしょうか。	結婚や出産にはいろんな考え方があることから、「目標人口」は設定せず、代わりに人口の将来展望として、国・県の人口ビジョンを勘案し推計しています。 今後、市民の結婚・出産・子育ての希望がかなえられるよう、総合戦略に位置づく施策を推進し、人口減少の抑制に努めて参ります。
4		維持する人口を明記していただきたい。 総合戦略(素案)のP61に合計特殊出生率の目標を1.81で掲げておられるので、それであれば「〇〇万人維持できる」というものをお示しいただきたい。	
5		「合計特殊出生率」と「希望出生率」が混同して使われている。	市民希望出生率とは、市民が希望する合計特殊出生率という意味で、国・県と同様に、「結婚・出産・子育て」に関する意識調査により把握した、市民の理想の子ども数などから算出したものです。